

# 大切に使いました みんなのお金

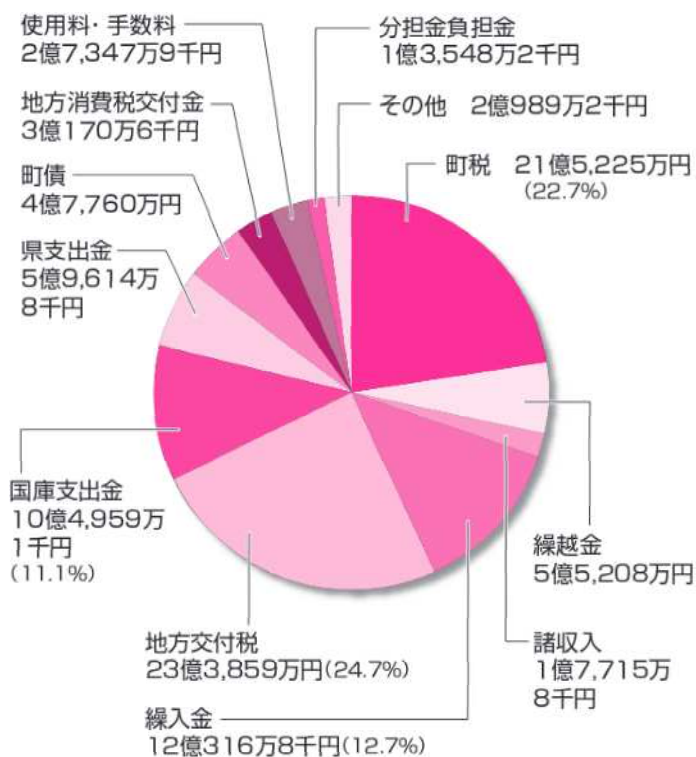
## 平成28年度 決算の公表



決算は、町にどれだけのお金が入り、どのような事業にお金を使ったかを表す町の家計簿です。

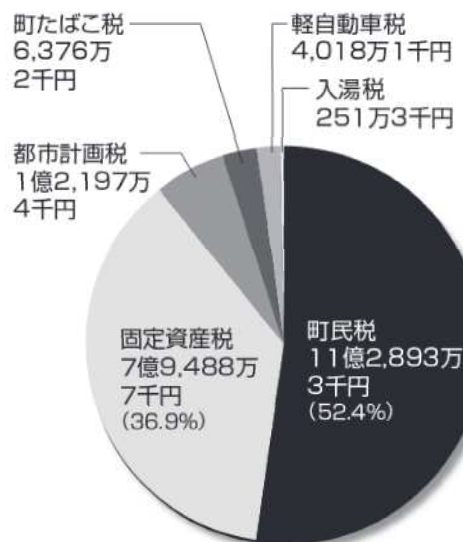
決算を通して、みなさんに納めていただいた税金をどのような事に使わせていただいたか、町の財政状況などの概要をお知らせします。

### 歳入 94億6,714万4千円



※10%未満は表示しておりません

### 町税の状況



※10%未満は表示しておりません

町税のうち、都市計画税は都市計画事業などにかかる費用に充てるために課税する税で、入湯税とともに目的税と呼ばれます。三郷町では、都市計画税は下水道整備事業に、入湯税は観光振興事業に活用しています。

### 町の家計とは

町の家計は、大きく分けて一般会計と特別会計、そして企業会計に分類されます。

一般会計は、町の仕事の中心部分を賄う会計、特別会計は特定の資金運用や事業を行っている会計、企業会計は水道事業のように独立採算で運営を行っている会計です。

今回、概要を報告するのは一般会計と一部の特別会計を合わせた「普通会計」と呼ばれる会計ベースで、平成28年度の歳入総額は94億6714万4千円、歳出総額は91億8699万7千円となりました。

前年度と比べて歳出が増加していますが、国の補助金や交付金などの歳入確保にも努めたため、2億8014万7千円の黒字決算となりました。

### 歳入

歳入の決算額は94億6714万4千円でした。町税・地方交付税については若干減少しましたが、国庫や県支出金が増加となり、前年度に比べて15億7844万2千円（20.0%）の大幅な増加となりました。

### 歳出

歳出の決算額は91億8699万7千円、前年度より18億5037万5千

**用語解説**

**実質赤字比率** 一般会計等の実質的な収支が黒字か赤字かを判断するための指標

**連結実質赤字比率** 一般会計等と特別会計、企業会計の合計の実質的な収支が黒字か赤字かを判断するための指標

**実質公債費比率** 標準的な年間収入に対して、地方交付税などで措置される部分を除いた借金の返済額の割合

**将来負担比率** 標準的な年間収入に対して、将来負担しなければならぬ借金などの割合

◆ 三郷町の財政健全化判断比率 ◆

健全化判断項目	三郷町 (平成28年度比率)	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
②連結実質赤字比率	—	20.0%	30.0%
③実質公債費比率	-0.4% (3カ年平均)	25.0%	35.0%
④将来負担比率	—	350.0%	—

※早期健全化基準は、財政状況が悪化しつつあり、早期に改善が必要な基準（いわゆる「イエローカード」）、財政再生基準は、行政運営に国や県の関与や勧告を受ける基準（いわゆる「レッドカード」）です。

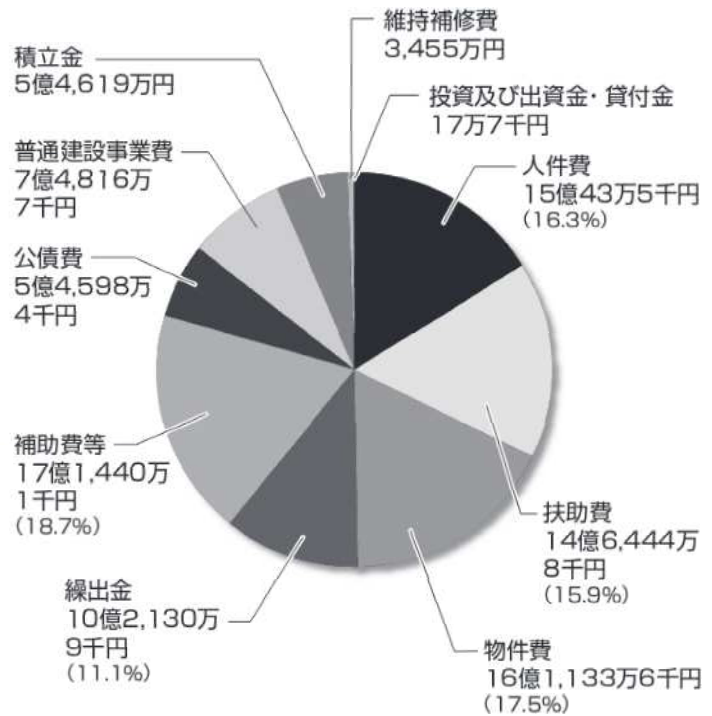
自治体が財政破綻することを未然に防ぎ、破綻しそうな自治体の財政を早期改善するため、財政状況を四つの指標として数値化しています。

三郷町では、四つの指標全て、基準値内の結果となりました。

**歳出 91億8,699万7千円**

**特別会計決算**

	歳入	歳出
下水道事業	6億6,107万3千円	6億5,331万円
国民健康保険	29億8,636万3千円	29億2,751万4千円
介護保険事業	18億3,921万円	18億 957万9千円
後期高齢者医療	3億1,229万8千円	3億1,059万4千円



※10%未満は表示していません

**特別会計**

普通会計に対して、特定の事業を行うための会計を特別会計と呼びます。

町には4つの特別会計があります。

- **子どもたちの安全のために**  
安全な教育の提供のために中学校建替の設計、用地購入、仮設校舎を建設。プール用地の購入。町道立野11号線道路の整備。教育ICTの推進。通学路への防犯カメラの設置。
- **より住みやすい町へ**  
資源の有効利用と可燃ごみの減量化を図り、ごみ資源化を推進。
- **情報化の推進のために**  
マイナンバー制度の本格運用に備え、総合行政ネットワークのセキュリティ強化を図るため、庁内ネットワークの再構築を実施。
- **町制50周年事業**  
昨年度は町民のみなさんと三郷町を盛り上げていただいた町制50周年の年でした。年間を通してこれまでの50周年を振り返り、これからの三郷町を町民のみなさんと共に描いていけるよう様々な事業を行いました。

**こんな事業にお金を使いました**